

令和元年度第8回福祉作品コンクール中学年の部 金賞受賞作品

『ありがとう いつもやさしく にこにこえがお』

賀田小学校3学年 三鬼大雅さん

登園・登校再開した
子どもたちに『一緒に頑張ろうね』
と応援メッセージを込めて、
ヤーヤにゃんグッズをお持ちしました。



ステッカー

ポケットティッシュ



新型コロナウイルスにより、卒業・入学・進級の喜びも満身に味わうことができず、突然自宅待機を強いられた子ども達…。当たり前だと思っていた生活が当たり前ではないと気づかされました。

『この経験を大切にして、今までよりももっと仲良く暮らしていけるように…一緒にがんばっていこうにゃ』

おわせ 社協だより

7

No.158号
月号

令和2年7月1日発行

編集・発行



社会福祉法人 尾鷲市社会福祉協議会

栄町5-5 TEL:22-3246
<http://www.owasewel.com>

この広報誌に関するご意見は尾鷲市社会福祉協議会 地域福祉課 総務・福祉係までお寄せ下さい。
この広報誌は、共同募金の配分金の一部を活用して作製しています。

令和元年度 事業活動計算書 (一部抜粋)

(単位：円)

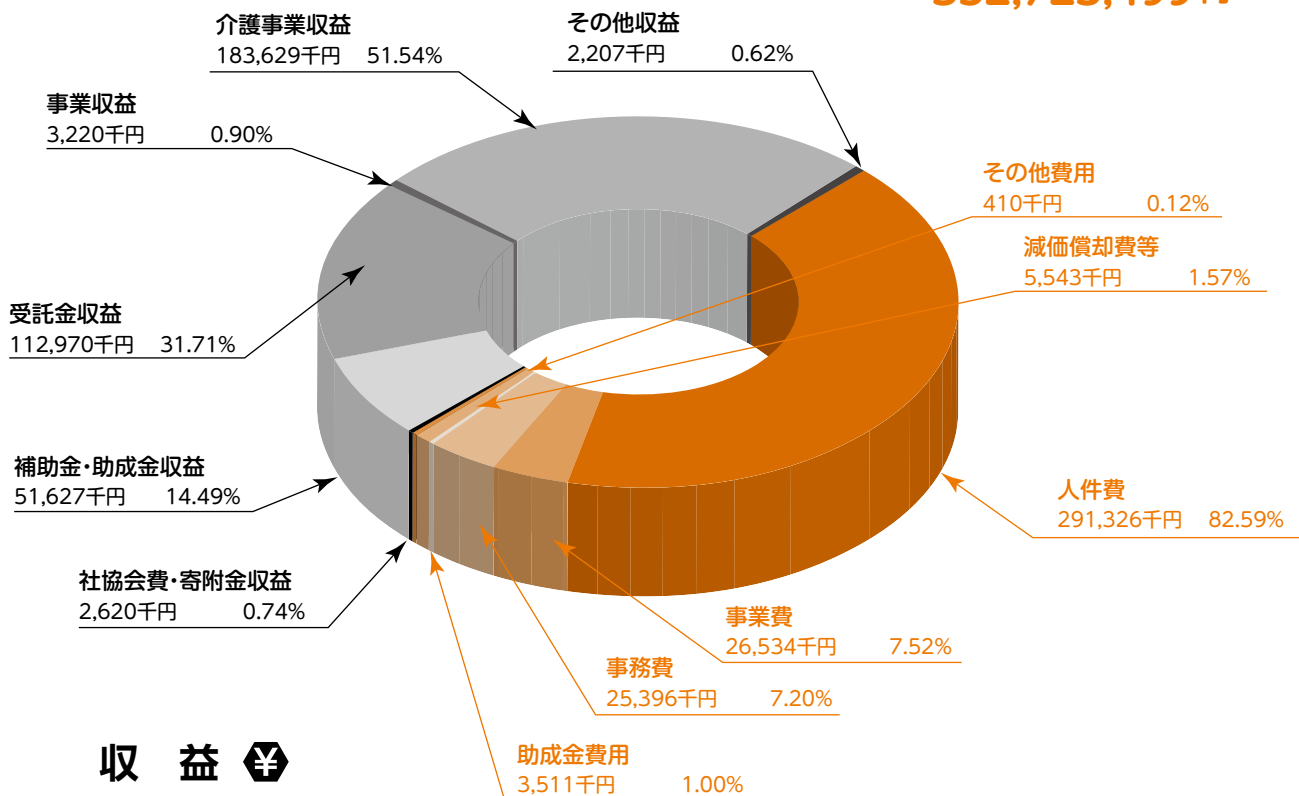
勘定科目	決算額
会費収益	1,736,000
寄附金収益	884,161
経常経費補助金収益	51,627,159
受託金収益	112,970,872
事業収益	3,220,677
介護保険事業収益	154,329,126
障害福祉サービス等事業収益	29,300,114
その他の収益	2,207,752
収入計	356,275,861

(単位：円)

勘定科目	決算額
人件費	291,326,880
事業費	26,534,853
事務費	25,396,962
助成金費用	3,511,200
負担金費用	67,500
減価償却費	6,931,047
国庫補助金等特別積立金取崩額	-1,388,020
その他の費用	343,077
支出計	352,723,499

費用 ㊦

352,723,499円



収益 ㊦

356,275,861円

社協賛助会費のお願い

理念

尾鷲市のだれもが安心して生活できる
まちづくりをすすめていく

尾鷲市社会福祉協議会では、子育て応援事業、地域の交流行事の開催、高齢者の見守り訪問活動やボランティア団体の活動支援、子どもたちの福祉教育など、住み慣れたまちで安心して生活できるまちづくりをすすめていくために様々な事業に取り組んでいます。社協賛助会費は、これらの取り組みの費用に充てられており、皆様のご協力により成り立っております。

社協賛助会費は、これらの取り組みの費用に充てられており、皆様のご協力により成り立っております。



賛助会費のつかいみち



見守り訪問活動 災害ボランティア啓発講座

他にも様々な事業に活用させていただいております。

社協賛助会費

賛助会員 1口 1,000円
特別会員 1口 5,000円

令和元年度賛助会費総額

1,736,000円 (1,224件)

お問い合わせ

地域福祉課総務・福祉係 Tel.22-3246



こんにちは！きらり☆尾鷲人のコーナーです。前回に引き続き、『図書館にまつわるボランティアさん』というテーマで『おはなしポケット』さんの紹介をします。

どんな人が参加しているの？

『おはなしポケット』さんは、図書館の講座『おはなしだっこ』などで読み聞かせを担っているボランティアのグループです。代表の高芝治子さんにお話を聞きました。

『おはなしポケット』は、十年前の読書ボランティア養成講座を修了したメンバーが、有志で活動を始めました。毎月第一木曜日は、中央公民館三階の和室で、『おはなしだっこ』という図書館の講座で、読み聞かせをしています。また、市内の保育園や、

学童のわんぱくクラブ、子育て支援センターのちびっこ広場にも出前で読み聞かせに行っています。

どんな本を読むかは、毎月第四木曜日の例会で、メンバーのみんなで企画を練りながら話をして決めています。

どんな人が参加しているの？

会員は六名です。四十代から七十代の方まで、幅広い年代の方が活動しています。日ごろお仕事をしながら、活動できる日に参加してくれる会員もいます。

活動への思いを聞かせてください

読み聞かせの現場では、絵本以外にも、紙芝居を読んだり、わらべ歌や童謡を歌ったり、手遊びも織り交ぜたり……と来てくれた親子の方に楽しんでもらえるような工夫をしています。

私たちが読み聞かせで心がけていることは、「絵本や紙芝居って楽しい！面白い！」って思ってもらえること。私たちの読み聞かせを通して、子どもたちに本を好きになってほしいですね。

そして、この読み聞かせの会をきっかけにして、家でもママやパパの声で絵本を読んでも、親子のスキンシップの時間を持ってもらえたらと思っています。

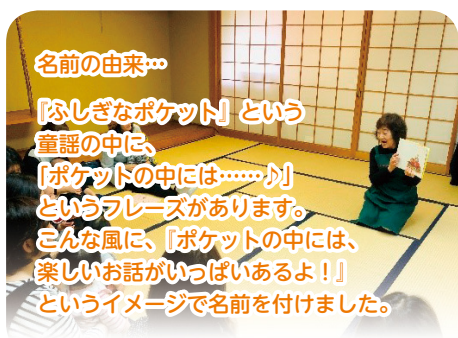
活動の見学はできますか？

おはなしポケットでは会員を募集しています！活動中の見学も歓迎しています。一度ぜひ見に来てみてください。どんな活動か見てもらった上で、参加してもらえたらうれしいです。

あなたの声でぜひ読んでみてください。子ども好きの人、大歓迎です。

◆お問い合わせ先◆
尾鷲市立図書館

Tel 23-8282



名前の由来…

『ふしぎなポケット』という童謡の中に、『ポケットの中には……』というフレーズがあります。そんな風に、『ポケットの中には、楽しいお話がいっぱいあるよ！』というイメージで名前を付けました。

部署

～私たちこんな仕事してます～ 紹介リレー！



尾鷲市地域包括支援センター 編

◎地域包括支援センターとは？

高齢となっても住み慣れた地域でいつまでも健やかに、自分らしく暮らせるよう、高齢者のあらゆる相談に対応する地域の総合相談窓口です。

「福祉の相談窓口って色々あってどこに相談していいかわからない。」「相談したいけど何をどうやって相談したらいいかわからない。」などの場合は、地域包括支援センターにご相談ください。高齢者の生活上の困りごとは介護問題だけとは限らず、様々な困りごとがあります。お話の中から一緒に困っている事を整理し、助言させていただいたり、各関係機関と連携して支援を行います。

地域包括支援センターは、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門職がチームとして連携を取りながら、高齢者の暮らしを支えています。



◎介護や健康のこと

「介護保険を利用したい」「介護予防事業に参加したい」といった相談に対応し、要介護（要支援）認定の申請代行やケアプランの作成、ご本人の状況に合った支援サービスの紹介などを行います。

◎権利を守ること

「近所の高齢者が虐待にあっているのでは？」「悪徳商法の被害にあった」「認知症でお金の管理ができない」といった高齢者の権利や財産などの不安についての相談に対応し、被害の防止や救済、制度の紹介を行います。

◎認知症施策の推進

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮

らし続けられるために、認知症専門医、医療や介護・福祉の専門職で構成される「認知症初期集中支援チーム（えがお安心チーム）」が初期の支援を包括的、集中的（6カ月）に行い、自立生活をサポートしていきます。

また、認知症の正しい理解の促進を目的に「認知症サポーター養成講座」の開催や、認知症の方やその家族、地域住民、福祉・介護の専門職など、誰もが気軽に集い、認知症について理解や交流ができる「認知症カフェ（こもれびカフェ）」を開催しています。



◆お問い合わせ◆

尾鷲市地域包括支援センター
（尾鷲市福祉保健センター内）

☎ (22) 3003

※来所できない場合は、自宅に訪問することもできます。

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で生活資金にお悩みの皆様へ

尾鷲市社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響で、一時的に生活資金が必要になった方に対して、貸付相談を実施しています。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、休業・失業等により収入が減少した方が対象となります。詳しくは、下記相談窓口までお問い合わせください。

相談に当たっては、休業や失業が確認できる書類をお持ちください。

（給与明細書、源泉徴収票、給与等の振込口座の通帳、勤務シフト表、離職票等）

